

地域情報通信基盤整備推進交付金事業の事後評価について

伊達市では大滝区内の情報格差解消を目的として平成21年度に地域情報通信基盤整備推進交付金を活用して地上デジタルテレビ放送設備等を整備し、地上デジタルテレビ視聴サービスを開始しました。

今回、事業開始から5年を経過したことから地域情報通信基盤整備交付要綱第8条により事業評価を実施し、その内容を公表します。

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備事業推進交付金事業			
事業の概要	事業完了日	平成22年 2月24日			
	総事業費	44,310千円			
	交付金額	14,770千円			
	整備対象地域	伊達市大滝区全域			
	事業の内容	<p>伊達市大滝区は以前より全域が難視聴地域であり、平成14年度補正新世代ケーブルテレビ整備事業において局舎並びにFTTHによるHFC網を整備したことで当該地区の地上波テレビ放送の難視聴を解消するとともに、利用者にSTB・CM・TAを無償貸与したことで地域の情報化は大きく進展した。</p> <p>しかし、テレビ放送のデジタル化により地上デジタル放送の受信・送出設備の整備が急務となったことから、地上デジタル放送受信アンテナ並びに局舎へのデジタルヘッドエンドの設置、両者間の光ファイバケーブルの敷設を行うことで、地域間格差の解消と地域の一体化・活性化を図った。</p>			
CATV	サービス開始日	平成22年 2月25日			
	サービス形態	公設公営			
	契約先				
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成22年度末	平成26年度末
	整備地域の世帯数	518	493	490	463
加入世帯数	518	493	490	463	
加入率(%)	100	100	100	100	
評価及び課題	テレビ放送視聴においては100%全戸加入となっており、サービス開始後も特段大きな支障は生じていない。				
今後の取組及び方向性	地上デジタル放送の安定した送出のため設備保全に努める。				